

冬の味覚を地域の農産物で楽しむひととき「軽トラ市」



市内では、地域内で収穫される新鮮な野菜や米、花などを軽トラの店舗にて生産者の方々が直接販売を行う軽トラ市が行われています。

開催時期は年4回(3月・5月・10月・12月)で野菜の収穫時期に合わせているそうです。

今回は12月の軽トラ市にお邪魔しました。来場される方々は開催場所の近くにお住まいの方が多く様子でした。今回は地元

野菜を使ったすいとんが来場者に振る舞われました。

参加された方々に、軽トラ市についてインタビューしてみました。

「お買い物中の方から」

近所で開催を聞き、買い物に来ました。移動の負担も少なく、家の近所で新鮮な野菜を安価で購入できてうれしいですね。

「出店者の方から」

1年を通じて里芋・ネギ・人参・キャベツなどを生産しています。今日は、買い物に来られた方が多くうれしいです。育てた農産物を消費者の方々に直接届けられるのがいいですし、買い物を通じて地域の方々とコミュニケーションを図ることで生産者として意欲が湧いてきます。

「協賛企業の方から」

出店者、来場者ともに増えてきています。出店される方々に販売価格などを安価に設定していただき感謝しています。軽トラ市の周知は市の産業振興課が中心となり広く宣伝していただき、認知度も向上してきています。今後もさらに多くの方々に「来場いただければ幸いです」。

ふれあい広場でインタビュー

12月1日、障がい者週間記念事業、第23回ふれあい広場が大井中央公民館で開かれました。参加していた市民に以下の点を聞きました。

- ・議会だよりを読んだことはありますか。
- ・議会に期待するのはどんなことですか。



中学生の保護者の方

議会だよりを読んだことはないです。15年近く住んでいますが、ふじみ野市は住みやすくてよいまちだと思います。子どもの将来は心配ですが、今は中学校でのびのびと過ごさせていただいています。

施設職員をしている方

いつも読んで注目しています。やはり障がい者の問題がどう扱われているか、気になるところです。そうですね、要望としては市内に入所施設がほしいです。

中学校の介助員をしている方

大井西中学校の介助員をしていて広報などは読んでいません。議会は遠い存在で、気軽には行けないし、それでもいろいろ話を聞いてほしいと思います。